

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる	家電量販店（店長）	・アテネオリンピック開催の影響から、液晶テレビやDVDレコーダーなど家電の商品の売上に期待が持てる。	
		やや良くなる	百貨店（営業担当）	・人の流れや単価に変化はないが、年末商戦や最近の売上状況を見ると回復状況にあり、今後はやや良くなる。
			衣料品専門店（経営者）	・単価の上昇に見られるように、今までにない客の購買意欲を感じられるようになった。
			家電量販店（店長）	・アテネオリンピックの影響で、映像関係の商品が大きく期待できる。
			旅行代理店（従業員）	・景気は回復基調にあり、SARS等の影響がなければ、春先の旅行シーズンは良くなる。
	設計事務所（所長）	・個人の一戸建ての住宅販売に少し明るい兆しがみえてきた。		
	変わらない	百貨店（総務担当）	・歳暮商戦は、早期割引を行った11月は前年比230%と好調であったが、割引が終わった12月は前年比80%と急降下し、最終的には102%であった。このように、割引特典など価格に非常にシビアな購買行動は、今後も変わらない。	
		スーパー（店長）	・暖冬により冬物の販売は芳しくないが、客の購買動向は徐々に回復に向かっている。	
		スーパー（企画担当）	・来客数は3ポイント、客単価は1.5ポイント減少しており、厳しい状況は変わらない。	
		コンビニ（店長）	・ここ数か月間の売上は前年比5%前後の減少が続いており、先行きの来客数増加につながる話題も一切ない。	
		乗用車販売店（従業員）	・3か月後は企業の決算期に合わせ、販売促進を強化する予定であるが、財布のひもの固さ、ボーナスの減額などによりさほど上向かない。	
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車の発売により、販売台数は前年比をわずかに上回っているが、満足できる結果ではない。また、売上は増加しているが、利益が確保できない状況である。	
		ゴルフ場（従業員）	・3か月後は閑散期には入るが、予約状況、客の様子から判断して、現状とあまり変わらない。	
設計事務所（職員）		・3か月先までの販売量、受注量はほとんど変わらないと予測できている。		
住宅販売会社（従業員）		・住宅ローン減税が延長されたことにより、金利の動きを見ながら検討する客が増加する。		
商店街（代表者）		・大型ショッピングセンターの出店の話があり、地域量販店同士の競争が激化し、自然淘汰される店舗も出てくる。		
やや悪くなる	一般小売店〔乾物〕（店員）	・近くに大型店がオープンして、かなり影響が出ている。また、SARSやBSE問題が再発しており、不安感がある。		
	スーパー（営業担当）	・例年であると不景気時には、お正月用の飾りには金をかける動きがみられるが、今年は、不景気感があるにもかかわらず、客の財布のひもは固く、低単価で推移している。明るい話題などもなく、新商品、話題商品の動きも悪いことから、2、3か月後も厳しい状況が続く。		
	コンビニ（店長）	・日曜日、祭日、クリスマス、年末年始などの売上が、前年比で通常の平日より減少率が大きい。		
	都市型ホテル（経営者）	・宿泊、パンケットの予約状況が前年同期比で落ち込んでいる。		
	美容室（経営者）	・年金問題、税金問題などを考えると、消費者マインドは冷え込んでいく。		
	悪くなる			
企業 動向 関連	良くなる	-	-	
	やや良くなる	木材木製品製造業（経営者）	・2月、3月に向けて、年度末の売り込み成果と、マンション完成により受注量が若干増加する。	
		化学工業（販売担当）	・農業資材関連は、やや低調に推移しているが、精綿、家庭紙関連は、年明けの需要も拡大傾向にある。	
		建設業（総務担当）	・民間工事の引き合いの増加に伴い、契約件数も増加しており、2、3か月後にはかなりの確率で契約が増えると予想される。	
		不動産業（経営者）	・業績の良い取引先と悪い取引先とが二極化している。また、客の中でも特に高齢者の購買意欲が、非常におう盛になっている。	
		繊維工業（経営者）	・秋口から新規開拓を積極的に行った結果、新規販売は比較的順調に推移しており、春からこの売上が上積みされるため、昨年より多少良くなる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	一般機械器具製造業 (経理担当)	・小型クレーンの排ガス規制による買換え需要は、東京地区で商談、受注に減少傾向がみられるものの、中部地区で需要が伸びるなど、首都圏から地方へ需要の流れが移ってきている。
		一般機械器具製造業 (経理担当)	・排ガス規制によって需要が先取りされていた特装車の買換えが一段落したため、当面良い材料が見当たらない。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・設備投資は化学、製薬、電子材料関連などの一部大手企業で少し行われている程度に過ぎず、一般的には非常に少ない。
		広告代理店(経営者)	・百貨店、スーパーなど、流通関係の取引先の下期広告予算の削減話が依然として多く、厳しい状況が続く。
	やや悪くなる	食料品製造業(従業員)	・2、3か月後は、売上が良かった年末の反動で、やや悪くなる。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	求人情報誌製作会社 (編集者)	・年度末に向けて、幹部候補者の採用のニーズがあり、良くなる。
	やや良くなる		
	変わらない	職業安定所(職員)	・新規求職者の増加は弱まったが、自己都合による離職者が3か月連続して増加している。
		職業安定所(職員)	・パートを含む有効求人倍率は0.59倍と、5か月連続で改善した。新規求職者は年末を控えて減少したものの、新規求人ではパート求人が増加し、条件面でも期限付き求人が増加していることから、雇用面での厳しさは継続する。
	やや悪くなる	人材派遣会社(支店長)	・例年、年末にかけて求人数が増加するが、今年はそれがみられないことから、やや悪くなる。
		人材派遣会社(支店長)	・派遣スタッフの登録者数が少し減少傾向にあり、非常に危機感を感じている。
	悪くなる		